



Profile

国立大学法人三重大学
学長 駒田 美弘
国際環境教育研究センター
最高環境責任者



Q 三重大学のおしゃれについて

A “おしゃれ”を2018年度のキーワードの一つとしたのは、ある一人の職員の「三重大学にはカフェテラスなどのおしゃれな場所がない」という声がかっけでした。自分と同じ専門の人だけでなく異分野の人々が集まれるような、おしゃれなスペースがあると、心が豊かになり学問・研究の場において良いアイデアが生まれやすい環境となるのではないのでしょうか。

Q キャンパスのおすすめ箇所

A 私のキャンパス内での行動範囲はごく限られているので特定の場所は挙げられませんが、学生がたくさん集まり、若いエネルギーに溢れている場所が好きです。また、キャンパス内を見渡せる眺めの良い屋上なども大好きですよ。



Q 自身のおしゃれなライフスタイルとしてのこだわり

A 早寝早起きです。
5時前には起きて、大学へは誰よりも早く来ています(6時半くらい)。早く来て、その代わりに早く帰る。残業はしない。
これはアメリカでは普通のことなんですよ。

Q 学生に求める“おしゃれ”について

A 人に対して不快感を与えず、優しさや癒しを与えられること。ただしこれは自己満足ではいけない。自分ではわかりませんし、人に聞くわけにもいかない。経験として学んでいくんでしょうね。
ファッションに関して特に気になっているのは、何か行動をするときに時・場所・目的に合った格好かどうかです。また、時代に合わせたファッションというのも大事です。例えば、今の時代に十二単なんかは合いませんよね。



Q 学生へのコメント～学生生活に関して～

A 今という時間を大切にしたいです。そして将来の志、一生をかけてやり遂げたいことを一つ見つけて欲しいです。簡単には見つからないと思うけれども、見つけようとする努力をやめたらいけない。「明日、死ぬ」という事態になったときに「今、何をしたい」と答えられない人が多いと思います。
答えられないということは、自分の存在価値を考えたことがないということになります。自分の歩んできている時間を大切にするために今、何をすることは非常に重要なことです。一生に一度、命をかけて自分がやりたいということを見つけたら、その気になれば何だってできます。若い皆さんの人生は長いんですからね。僕が君たちの寿命を吸い取りたいくらいです(笑)

Q 世界に誇れる「環境先進大学」を目指す三重大学の10年後に向けた具体的な目標を教えてください。

A ごみ0キャンパスを目指したいです。ごみは学内で捨てるのではなく持って帰る。また、自転車のラベル(学内乗り入れシール)なんてなくても、学生が自転車を放置しないようになると良いですね。強制的であったり、あるいは何かエンジンをぶら下げたりするのはなく、自然とそのような行動ができることが大切です。皆知識が無いわけではないと思います。そこからその知識を行動に移せるかどうかが問題です。知識を身に着けて、実際に行動するまでの距離というのは、経験があると簡単に乗り越えられると思います。あとは、人間というのは周りの人間の行動に影響されるものですから、ごみ一つ落ちていないところにごみを捨てるのはなかなか勇気が要りますよね。環境ISO学生委員会みんなが楽しく環境活動している姿を見て、君たちの同級生が影響を受けて「ちょっと自分も環境活動をやってみよう」という気持ちになってもらって、その輪がどんどん広がっていくといいですね。

